

令和 4 年 7 月 21 日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

## 巡回展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」科博で特別公開 国立科学博物館における開催および報道内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：篠田謙一）は、2022（令和 4）年 8 月 5 日（金）から 9 月 25 日（日）までの期間、下記のとおり、企画展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」を開催いたします。

また、本展の開幕に先立ち 8 月 4 日（木）に別添のとおり報道内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

国立科学博物館では、およそ 490 万点ほどの膨大な標本を有していますが、その多くは収蔵庫に保管され普段は公開されていません。この展示では、その収蔵庫の中から世界屈指の動物標本コレクションとして知られる「ヨシモトコレクション」を中心に、選りすぐりの哺乳類などの標本を紹介するものです。日本各地の美術館や商業施設など多様な施設で展示することを目的に制作した巡回展示を、当館で特別に開催します。

本展の開幕に先立ち、別添のとおり 8 月 4 日（木）午後 5 時 30 分～午後 7 時に、報道内覧会を実施します。つきましては、広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

### 記

【会 場】国立科学博物館 日本館 1 階 企画展示室（東京都台東区上野公園 7-20）

【会 期】2022（令和 4）年 8 月 5 日（金）～9 月 25 日（日）

【開館時間】午前 9 時～午後 5 時

8 月 5 日（金）～14 日（日）の開館時間は午前 9 時～午後 6 時

【休 館 日】9 月 5 日（月）・12 日（月）・9 月 20 日（火）※会期等に変更となることがあります。

【入 館 料】一般・大学生：630 円（団体 510 円）（税込）、高校生以下および 65 歳以上無料

※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます。

【入館方法】新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を実施しています。

※入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。

※入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページの予約サイトをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/news/2020/reservation/index.html>

【主 催】国立科学博物館

【企画編集・デザイン】日本デザインセンター 三澤デザイン研究室

【展示概要】別添の本展チラシ参照

【お問合せ】国立科学博物館 科学系博物館イノベーションセンター

展示開発・博物館連携グループ 展示開発担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9808 FAX：03-5814-9899 E-mail：junkaiten@kahaku.go.jp

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

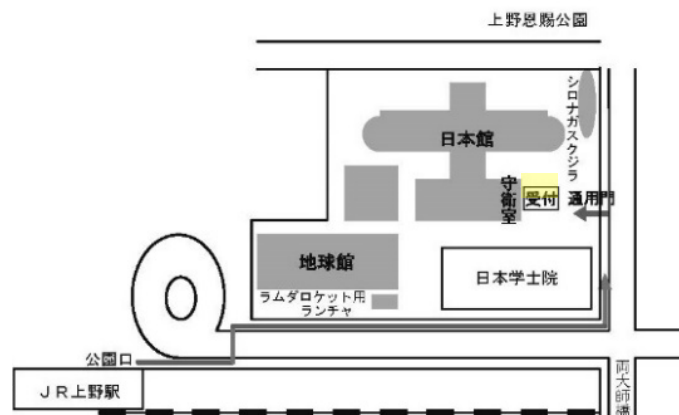
**企画展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」  
報道内覧会のお知らせ**  
2022(令和4)年8月4日(木)午後5時30分～／国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」の開幕に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

記

- 【日時】 2022(令和4)年8月4日(木)  
午後5時30分～午後7時(受付開始 午後5時～)
- 【会場】 国立科学博物館 日本館1階 企画展示室 (東京都台東区上野公園7-20)
- 【受付場所】 日本館1階 守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください。
- 【アクセス】 JR上野駅公園口から徒歩5分  
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分  
京成電鉄上野駅から徒歩10分  
※駐車場および駐輪場の用意はございません。



【当日のスケジュール】

- 午後5時～ 受付開始(受付場所：日本館1階守衛室前)
- 午後5時30分～午後7時 報道内覧会(会場：日本館1階企画展示室)
- ※本展監修者による展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。
- ※一部映像を除き展示室内の撮影が可能です。

## 【新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い】

### 【注意事項】

- ・ご参加は 1 媒体 2 名様まででお願いいたします。  
(テレビ撮影など、撮影人数が必要な場合は上記の限りには含みません。)
- ・本内覧会は事前申込制(先着順)となります。ご参加くださる場合には必ず事前にお申込みください。
- ・お申込み数によっては、期日前であっても締め切らせていただきますのでご容赦ください。
- ・会場の混雑状況により、ご入場までお待ちいただくことがございます。開始直後の時間帯を避けて、ご来場いただくことをお勧めいたします。
- ・会場内の撮影は三脚/脚立/照明の使用は不可となります。詳細が事前に必要な場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
- ・開会式、一般内覧会は実施いたしません。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、報道内覧会を中止する場合があります。予めご了承ください。

### 【ご参加の方へのお願い】

- ・ご来場の際は必ずマスクをご着用ください。
- ・発熱や風邪の症状があるなど、体調の優れない方はご来館をお控えください。
- ・入場時に非接触型での体温測定をいたします。平熱と比べて高い発熱が確認された方はご入場をお断りする場合があります。

## 【お申込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は、8月1日(月)午後5時までに、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館展示開発担当 [junkaiten@kahaku.go.jp](mailto:junkaiten@kahaku.go.jp) あて、メールにてお申込みください。

- ・件名：企画展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」報道内覧会申込
- ・お名前
- ・ご所属
- ・緊急連絡先(携帯電話番号)
- ・メールアドレス

※緊急連絡先とメールアドレスにつきましては、代表者の方のみで構いません。

※ご参加は 1 媒体 2 名様まででお願いいたします。

(テレビ撮影など、撮影人数が必要な場合は上記の限りには含みません。)

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします(概ね3日以内にお返事します)。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報は、報道内覧会以外の連絡には使用しません。

また、厳重に管理し、報道内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします。

## 【お問合せ・お申込み先】

国立科学博物館 科学系博物館イノベーションセンター 展示開発・博物館連携グループ  
展示開発担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9808 FAX:03-5814-9899 E-mail: [junkaiten@kahaku.go.jp](mailto:junkaiten@kahaku.go.jp)

## ヨシモトコレクションについて

1946年から1995年にかけて世界中からハンティングによって得られた標本群です。ハワイ・オアフ島のW. T. ヨシモト財団より、国立科学博物館へ寄贈されました。哺乳類・鳥類・爬虫類の標本412点からなり、多くは全身が剥製として残されていて、現在では調査が困難な地域の標本も多数含まれており、きわめて学術的価値の高いものです。

## 巡回展キット「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」の特徴

### ■ 巡回展による標本資源の活用モデルの構築

国立科学博物館の収蔵庫で保管されている標本を全国規模で巡回させることで、博物館が持つ資源の価値を世の中に提示するための新しいモデルとして構築します。

### ■ 全国の多様な施設への貸出

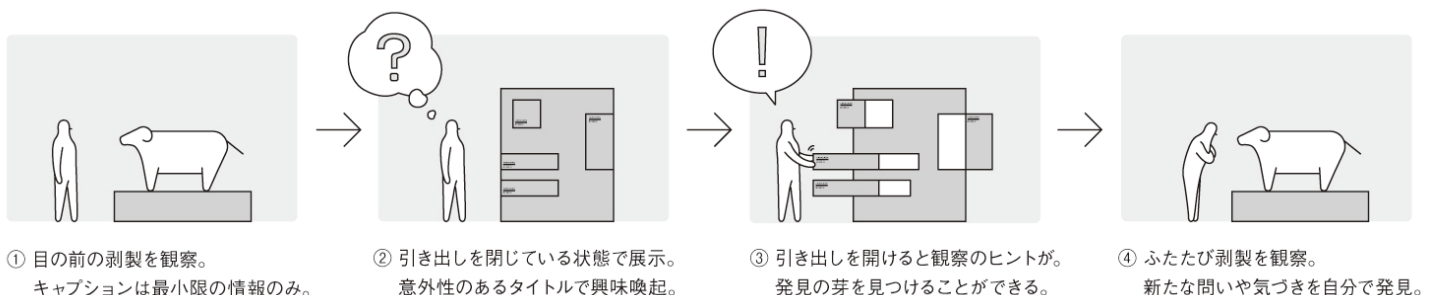
巡回展キットとして貸し出すことにより、科学系博物館だけではなく全国の美術館や商業施設など多様な施設での開催が可能となります。全国の様々な施設で、来場者が標本に出会い、驚きや発見を体験する機会を創出していきます。

### ■ 標本資料の観察を通じて「発見の体験」をする展示

テーマは「観察の眼、発見の芽」です。“声なき標本たち”の姿を通して、見つめる眼（観察）と見つける眼（発見）を育み、他の動物との意外な共通点、私たちの日常とのつながりなど、標本にまつわる学びや問いを発見することができる展示となっています。

動物の剥製1点1点を美術作品のようにじっくりと観察するという展示方法で、来館者と剥製の新しいコミュニケーションの形をつくります。ここで標本に付帯するのは、解説ではなく、観察するための「視点」の提示です。それは展示を体験する人を「自分なりの気づきを得られる体験」・「新しい発見や驚き」へと導きます。

## イラスト：展示体験フロー



※感染状況や混雑状況により、引き出しの開閉が出来なくなるなど、体験方法を変更する場合があります。予めご了承ください。

## 2022「JAGDA 賞」受賞

2022年に、博物館の巡回展キットとして「WHO ARE WE」が受賞しました。

「JAGDA 賞」とは、各年度の優れたグラフィックデザインを表彰・記録していくことを、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）の重要な活動の1つととらえ、2008年より創設されました。年鑑『Graphic Design in Japan』出品作品の中から、各カテゴリーの高得票作品を対象として数作品が選出されます。（カテゴリー：ポスター、ジェネラルグラフィック、CI・VI・シンボル・ロゴ・タイプフェイス・モーションロゴ、ブック・エディトリアル、パッケージ、新聞広告・雑誌広告、環境・空間、インタラクティブデザイン、映像、複合）。

## **過去の開催**

・大分県立美術館（大分県）2021 年 7 月 22 日（木・祝）～9 月 12 日（日）

### **【本展監修者】**

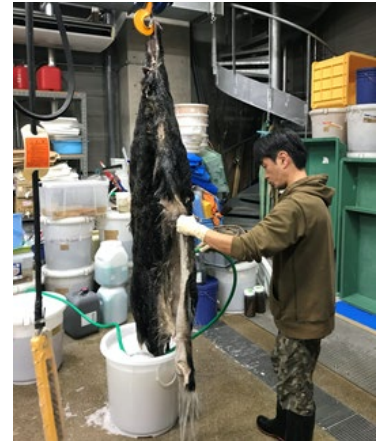
国立科学博物館 動物研究部 研究主幹（農学博士）

川田 伸一郎（かわだ しんいちろう）

1973 年、岡山県生まれ。

専門はモグラ研究。名古屋大大学院博士課程入学後のロシア留学で標本作製に目覚め、職を得た同館の資料充実に奔走する。

著書に『モグラ博士のモグラの話』、『標本バカ』、『アラン・オーストンの標本ラベル』などがある。



### **【企画編集・デザイン】**

日本デザインセンター 三澤デザイン研究室

ものごとの奥に潜む原理を観察し、そこから引き出した未知の可能性を視覚化する試みを、実験的なアプローチによって続けている。主な仕事に、水中環境をあらたな風景に再構築した「waterscape」、takeo paper show 2018 「precision」への出品作「動紙」、上野動物園の知られざる魅力をビジュアル化した「UENO PLANET」、ロゴの自在な展開性を追求した KITTE や TOKYO BIG SIGHT の VI がある。ジオホテル「Entô」（島根県隠岐の島）のアートディレクションも手掛けた。三澤デザイン研究室・室長の三澤遥氏が「WHO ARE WE」にて JAGDA 賞（2022）を受賞。



私たちは誰なのか。

企画展

# WHO ARE WE

## 観察と発見の生物学

国立科学博物館収蔵庫コレクション | Vol.01 哺乳類

And What Can We Learn From Observation?

Collection of the National Museum of Nature and Science, Tokyo

Vol.01 Mammals

2022年8月5日(金) — 9月25日(日)

国立科学博物館(東京・上野公園)日本館1階 企画展示室

National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)

開館時間 — 9:00 — 17:00 ※入館は閉館時刻の30分前まで

入館料(税込) — 一般・大学生630円(団体510円)

問い合わせ — TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル) FAX 03-5814-9899

※9月5日(月)、12日(月)、20日(火)休館。

※団体は20名以上。高校生以下および65歳以上は無料。

※常設展示入館料のみでご覧いただけます。

※入館には、オンラインによる事前予約が必要です。詳細はホームページをご覧ください。

主催 — 国立科学博物館

企画編集・デザイン — 日本デザインセンター 三澤デザイン研究室

写真 — Gottingham



サバンナの動物に目と鼻の先で向き合い、  
数億年前に絶滅した遠い祖先を見つめ、  
南半球と北半球の動物をすぐそばで比較する。  
距離を、時間を、種をこえる多様な剥製。  
展示台の引き出しに収められているのは、  
これまでとは違う角度から  
世界を見るための視点の標本。  
開けるたびに増えていく新しい見方、  
少しずつ引き出されてくる好奇心。  
ふたたび剥製に目を向けると、  
それまでとは異なる姿に見えてくる。  
気づかなかった不思議に気づき、  
わかった気になっていたことが、  
わからなくなることも。  
そして静かに浮かびあがってくる問い。  
哺乳類とは、ヒトとは何か。  
私たちは誰なのか。  
剥製を見ていたはずなのに、  
いつの間にか世界を見ている。自分を見ている。  
それは、目の前の出来事と  
地球の出来事がつながりはじめるとき。  
声なき剥製だから伝えることができる生物学。

国立科学博物館ホームページ

<https://www.kahaku.go.jp/>

※会期・開館時間等は変更になる場合がございます。

[入館に際しての注意事項]

- 入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。
  - 入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。
  - 入館中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。
- ※入場方法の詳細等については、国立科学博物館ホームページをご覧ください。



本展公式サイトはこちらから



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

企画展

# WHO ARE WE

## 観察と発見の生物学

### 国立科学博物館収蔵庫コレクション | Vol.01 哺乳類



国立科学博物館 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

[アクセス]

- JR「上野駅」公園口から徒歩5分
  - 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口から徒歩10分
  - 京成電鉄「京成上野駅」正面口から徒歩10分
- ※当館には駐車場および駐輪場はございません。



# 広報用写真提供

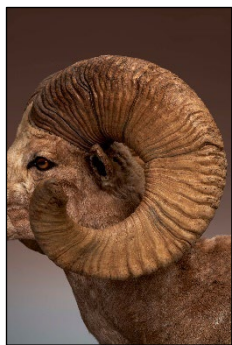
広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真の貸出からお申込みできます。

<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>



1. 自然史標本棟 動物剥製  
(写真：©Gottingham)



2. アルガリ  
(写真：©Gottingham)



3. 展示什器  
(写真：©Gottingham)



4. 展示風景 1  
(写真©Gottingham)



5. 展示風景 2  
(写真©Gottingham)



6. 引き出し開放時 1  
(写真©Gottingham)



7. 引き出し開放時 2  
(写真©Gottingham)

## 【記事利用の際のお願い】

- \* 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- \* 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- \* 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください（記事内容をチェックするものではありません）。
- \* ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先・巡回希望〉国立科学博物館 科学系博物館イノベーションセンター 田邊・中山  
電話 03-5814-9808 FAX 03-5814-9899  
E-mail : junkaiten@kahaku.go.jp  
〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20